

A modern, multi-story office building with a white facade and large glass windows. The building is partially obscured by lush green trees in the foreground. The sky is blue with some light clouds. The SECOM logo is prominently displayed on the side of the building.

SECOM

セコム株式会社
株主通信

6月
2010年

第49期決算報告

いまも、将来も 「安全・安心」はセコム と信頼される会社に

今期の見通しと今後の抱負について、
社長の前田修司から
ご説明させていただきます。

セコム株式会社 代表取締役社長

前田 修司



社長に就任されて6カ月になりますが、
セコムの今についての所感をお聞かせください。

昨年5月から、「セコムフレッシュスタート！」運動を展開しています。“自分が変わる、セコムが変わる、新しく”をスローガンにしたこの社内運動は、「現状打破の精神」や「正しさの追求」など、創業期からセコム社員が考え方や行動の指針にしてきた基本理念や、原理・原則に立ち返り、仕事のやり方や組織のあり方を見直し、変えるべきことは変え、セコムを新しく生まれ変わらせようという運動で、1年たって浸透してきました。また、社会の変化を先取りした他に類を見ない新システムを矢継ぎ早に開発し販売しました。

そうした施策によって社員のモチベーションが上がり、組織が一段と活性化してきたという印象を持っています。

4 月下旬に開催した「セコム・テクニカルフェア」では
3日間で4100名ものお客様が来場されましたね。

将来の社会がどうなっていくか、未来のセキュリティはどうあるべきかを考え、セコムが研究開発中で、すぐにも実現できる近未来のセキュリティを見ていただきたいと思い開催しました。「これまでもセコム、これからもセコム」というイメージを持っていただけたのではないかと考えています。

今後の見通しの中で、セキュリティサービス事業は
どのように変わっていくのでしょうか。

社会は刻一刻と変化しています。企業もその変化に先駆けて変わっていかなければ存続できません。先駆けて変わるということは、セコムではそうした変化に対応

できるよう、日々システムを進化させ、お客様のご要望に対応できるシステムに形を変えて提供しているという意味です。これができるのは、47年間にわたり独自のセキュリティシステムの研究開発や高品質なサービスの提供を通して培ってきた技術と運用の蓄積があるからです。

海 外でのセキュリティ事業も活発化してきていますね。

セコムは、これまで各国の状況に合わせてカスタマイズした「セコム方式」のセキュリティサービスを提供してきました。特に韓国や台湾ではこの「セコム方式」による安全が広く普及しています。また、イギリスではサービスクオリティが高く評価され、オーストラリアや東南アジアでも普及が本格化しています。

将来性ということ言えば、中国が最も有望で、売り上げの伸び率は群を抜いています。これまでは経済発展が著しい沿海部で事業を展開してきましたが、今後は内陸部にも展開していきます。また、この夏には中国でもセコム方式のホームセキュリティシステムの販売を開始します。

国 内のグループ企業の今期の見通しについてお聞かせください。

防災事業は、既存住宅への住宅用火災警報器の設置義務の最終期限が来年5月31日になっていますので、販売増を期待しています。

メディカルサービス事業は、事業の柱である在宅医療サービスの拡充に引き続き力を注いでいきます。

保険事業は、セキュリティと損害保険をより一体的に提供することで、大きなメリットが生まれる新商品の投入

を検討しています。

地理情報サービス事業は、防災・環境・海外事業の開拓に力を入れることにより、成長を促進していきます。

不動産開発・販売事業は、現在仕掛り中のマンションの販売を促進していきます。

情報通信・その他の事業は、すでに約2100社230万人の方に利用されている、国内最大級の危機管理サービス「セコム安否確認サービス」のさらなる普及に努めます。また、今年7月には、国内最高水準のセキュリティを施した「セキュアデータセンター」新館をオープンし、8月からサービスを開始します。

各 事業のサービス・商品を統合化・融合化することによってシナジーを生み出す「社会システム産業」の構築を加速することも重要ですね。

「社会システム産業」とは、「困ったときはセコム」と人々から頼りにしていただける産業です。その実現のために、今後も、暮らしや企業活動の中で「安全・安心」「便利」「快適」が得られるもので、他社よりセコムが提供したほうがよいシステム・商品・サービスの開発・提供に邁進していきます。

最 後に、株主の皆様にご一言お願いします。

セコムは、常に社会動向や犯罪動向、技術動向を見ながら、世の中で必要なシステム・商品は何かを考えて研究開発していますので、セコムの将来を見通す力、将来必要なものを実現する力を信頼していただきたいと思います。

また、セコムは日本および世界のセキュリティ産業を牽引する企業、という自負を持っていますので、セコムの将来に期待してください。

「セコム無線画像伝送システム」を販売開始 遠隔地の家族・公共施設・車を動画像で確認

携帯電話を使い、離れて暮らす一人暮らしの親や自宅のペット、公園や河川などの公共施設の状況を、リアルタイムに動画で確認できる新システム「セコム無線画像伝送システム」が、4月21日から販売開始となりました。

このシステムは、監視カメラと記録装置(レコーダー)、通信ユニットを設置するだけで、設置先の状況をリアルタイムに確認することができます。

高齢化、核家族化が進む現在、離れて暮らす親の状態を知りたい、という切実な要望がありました。「セコム無線画像伝送システム」は、インターネットやパソコンがなく、Webカメラ(ネットワークカメラ)を利用できないお客様でも、大きな工事をすることなく設置が可能で、気軽に携帯電話から家族の状況を確認することができます。

また、本システムを使うことで、自然災害時の河川の水量や降雪時の積雪確認なども早期に行うことが可能です。さらに、Webカメラなどを車に設置することで、車内の状況確認や迅速な対応を行うこともできます。

ご家族の安否から公共施設、車内の状況確認まで、幅広いご要望に応えることができる「セコム無線画像伝送システム」。セコムの新たな主力システムとなることが期待されます。



家族・公共施設・車を動画像で確認

お客様の複数施設の監視カメラを一元管理 「セコム画像アーカイブシステム」を発売

お客様の複数の施設に設置された監視カメラの画像を一元管理する「セコム画像アーカイブシステム」を、3月から販売開始しました。

これまで、多くの店舗や事務所をお持ちの企業では、各施設に設置した監視カメラ画像の記録・保管のために、それぞれの施設に記録装置を設置する必要がありました。そのため各施設では、記録装置自体の設置場所の確保はもとより、ハードディスクの交換など、記録装置の管理や盗難・火災による記録画像の消失対策、不正操作防止対策が求められていました。

そこで、ご契約先に「お客様画像センター」を設置し、監視カメラの画像を一元管理できる「セコム画像アーカイブシステム」を導入していただくことにより、効率化を図るとともに、上記のような問題を解決します。

さらにお客様の社内ネットワークであるイントラネットの利用が少ない時間帯に監視カメラの画像データを伝送することで、ネットワークの有効活用も可能となります。

運用や設置スペースなど、これまで課題であった監視カメラ画像の記録や保管を解決できる「セコム画像アーカイブシステム」。監視カメラをより効果的、効率的に活用できるシステムとして提案していきます。



記録画像を一元管理

「ココセコム」を標準装備したお子さま向け携帯電話 KDDI(株)の「mamorino(マモリーノ)」を発売

セコムはKDDI(株)と業務提携し、お子さま向け携帯電話「mamorino」を3月4日から販売開始しました。

「mamorino」は、防犯ブザーに連動するセコムの屋外用携帯緊急通報システム「ココセコム」の機能を標準装備した携帯電話です。(社)日本PTA全国協議会の推薦商品ならびに全国子ども会連合会の推奨商品に認定された初めての携帯電話として注目を集めています。

最大の特長は、防犯ブザーを鳴らすと、搭載された「ココセコム」が自動的にセコムに通報することです。通報を受けたセコムでは、お子さまの位置情報を迅速に確認し、要請があれば、セコムの約2750カ所ある緊急発進拠点から緊急対応員がお子さまのもとへ急行します。

また、インターネットやメールが普及する一方で、これらを使った事件や犯罪が後を絶ちません。「mamorino」は、電話とメールの相手先の数あらかじめ登録した4件に限定されているほか、サイト閲覧はできないため、安心してお使いいただけます。

お子さまが安心して使える
携帯電話「mamorino」

そのほかにも防犯ライトやワンタッチで自分の居場所を保護者に伝える「居場所通知」など機能も充実しています。

お子さまに安心して持たせることができる「mamorino」は、保護者の方から「これなら安心」と、ご好評をいただいています。

セコム初の地球環境保全分野でのシステム 「セコム・エコデータシステム」を販売開始

セコムでは初めての地球環境保全分野のシステムとなる「セコム・エコデータシステム」を5月から販売開始しました。

このシステムは、4月1日から施行された「改正省エネ法」の対象となる事業者に求められる、電気やガスなどのエネルギー使用状況の記録と集計を省力化するほか、集計結果を分かりやすくグラフで表示するなど、“見える化”による省エネ推進に役立つシステムです。

「セコム・エコデータシステム」の主な特長は三つあります。一つ目は、電気メーターなどの使用量を自動記録し、「改正省エネ法」で必要となる検針伝票の転記および年間集計の手間などを省略できることです。

二つ目は、計測・記録した結果をお客様のパソコンでタイムリーに表示できるので、いつでも省エネ活動の効果を確認することが可能です。

三つ目は、お客様の社内ネットワークを活用して各拠点のデータを集約することで全拠点の合計値を簡単に集計することができます。また、あらかじめ設定することで、計測したエネルギー使用量や室温が設定値に達した場合には、メールでお客様にお伝えすることができます。

「セコム・エコデータシステム」は、地球環境保全活動に取り組む企業の負担軽減に貢献していきます。



「セキュアデータセンター」新館を開設 国内最高水準のセキュリティを完備

セコムの情報系事業のグループ会社、セコムトラストシステムズ(株)は、東京都内に最新鋭のセキュリティを完備した「セキュアデータセンター」新館を7月に竣工し、8月からサービスを開始します。

インターネットの普及が進み始めた2000年、セコムは社会に先駆けて情報セキュリティの必要性を考え、国内最高水準のセキュリティを誇る「セキュアデータセンター」のサービスを開始しました。近年、機密情報や顧客情報などの漏えい対策だけでなく、大規模災害時のBCP(事業継続計画)対策などから、より高度なレベルのデータセンターのニーズが高まっています。

「セキュアデータセンター」新館は、セコムがこれまでに培ってきた出入管理システム、生体認証システムをはじめ、インターネットからの脅威にも対策を施した厳格なセキュリティを完備しています。また、安全な立地、信頼の免震構造、高効率な設備、エコロジーマでも実現しました。

「セキュアデータセンター」は今後、セコムならではのBCP対策サービスである「セコム安否確認サービス」や「セコムあんしんエコ文書サービス」など、高度なサービス基盤と24時間365日の監視体制を機能レンタルで提供する「セコムクラウドサービス」の拠点として拡充を図っていきます。

「セキュアデータセンター」新館(左側建物)の完成イメージ



血友病患者さんの治療効果の向上をサポート 輸注記録サービス「ゆちゅレコ」を開発

セコムトラストシステムズ(株)は、デンマークに親会社を持ち、医薬品の製造・販売からサービスまでを提供するノボ ノルディスク ファーマ(株)と業務提携。血友病領域では初となる、携帯電話を利用した輸注記録サービス「ゆちゅレコ」を開発し、6月10日からサービスを開始しました。

血友病の患者さんは、日々、「輸注」という、薬や血液製剤などを患者さん自身で血管内に注射する必要があります。そして、その治療指導を行うにあたって、医師は患者さんの輸注記録が欠かせません。これまで輸注の記録は記録用紙に書き込まれていましたが、記録忘れや手間がかかることによる記録漏れなどがあり、「手軽に記録でき、記録を振り返ることのできるものが欲しい」といった声が寄せられていました。



「ゆちゅレコ」記録表イメージ

そこで、セコムトラストシステムズは、同社が開発したBCP(事業継続計画)対策サービスの一つで、2010年3月末現在、約2100社、230万人にご利用いただいている「セコム安否確認サービス」の基盤と、ノボ ノルディスク ファーマのノウハウを応用し、輸注記録を電子化した「ゆちゅレコ」を開発しました。「ゆちゅレコ」により、血友病患者さんの治療効果が向上することが期待されます。

地球の環境を守り
社会に貢献

セコムの環境保全活動

セコムでは、あらゆる事業活動において、
地球環境保全に配慮した行動をとることを「環境基本理念」とし、
グループが総力をあげて環境保全活動に取り組んでいます。



資源循環型のビジネスモデル

セコムでは、オンライン・セキュリティシステムのサービス開始当初から機器のレンタル方式を採用しています。これにより機器の開発から製造・運用・回収処理に至るまで、すべてをセコムグループで管理し、廃棄物の削減やリユース・リサイクルによる効率的な資源の循環を実現しています。また、機器の環境配慮設計によって省資源化・省エネルギー化を図り、ご契約先の電力使用量の低減、社会全体でのCO₂排出量の削減を推進しています。

業務車両のエコ化推進

セコムグループが排出しているCO₂の44.5%は車両燃料の使用によるものです。これを踏まえ、2013年までにセコムグループ所有の全車両*約5000台を環境対策車とする計画を進めています。2010年3月末時点で約70%を、国が定めたアクションプランの対象となる低公害車とし、うち170台はハイブリッド車となっています。

自発的なエコロジー活動を推進

2009年8月、主要な事業拠点に「環境

推進委員会」を設置。社員が自発的に環境保全活動に取り組んでいます。その結果、セコム本社ビルでは、2009年度下期の電力使用量を前年比で9.4%削減。2010年2月には、社内のイントラネットを利用し、社員一人ひとりが家族を含めて環境保全に取り組める「セコムecoチーム」活動をスタートし、社会貢献活動を推進しています。



社員・家族で社会に貢献

*車両についての計数はセコム(株)および主要な関連セキュリティ事業会社の合計

技術革新がもたらす“未来の安全”体感フェア 「セコム・テクニカルフェア」を開催

4月21日から23日まで、東京・原宿のセコム本社で、セコムの企業向けセキュリティのご契約先を対象とした「セコム・テクニカルフェア」を開催しました。

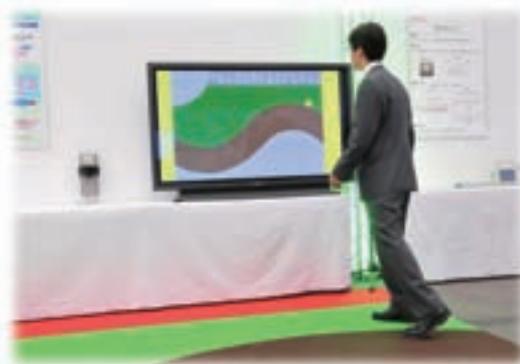
この「セコム・テクニカルフェア」はセコムが初めて開催する“技術展”で「セキュリティはセコム」を強烈にアピールできた3日間となりました。

セコムの技術力をアピール

「セコム・テクニカルフェア」の開会宣言の中で、社長の前田修司は、「近未来のセキュリティはどうあるべきかを考えました。そして、それらを見て、体感していただき、“今も未来もセキュリティは絶対セコム”



セコム初の技術展「セコム・テクニカルフェア」を開催



注目を集めた開発中の「レーザーセンサー」

と感じていただきたいと思います」と述べました。

展示物の中で関心が高かったのは、研究開発中の屋外用侵入者検知センサー「レーザーセンサー」でした。

このセンサーは、180度、半径30m内を監視でき、しかもセンサーから侵入者までの距

離、侵入者の大きさや方向、移動速度などを総合的に判断できるため、監視エリアを自由に設定して監視することができる画期的なセンサーです。

また、研究開発中の「インテリジェント非常通報システム」も注目を集めました。このシステムは、金庫や貴重品が入ったショーケースなどの重要物を狙った強盗行為を画像認識技術、音声認識技術を使うことで、自動検知・自動通報することができます。

たとえば、サングラスをした人間

が急接近してくる、怒号や悲鳴、破壊音がする、といった姿や動き、音声を監視カメラとマイクでキャッチし、非常ボタンの操作をすることなく、セコムに自動通報します。

「これからもセコム」を訴求

このほか、今年4月に発売した動画による遠隔確認システム「セコム無線画像伝送システム」(3ページ参照)と、昨年10月に発売した

遠隔画像監視システム「セコムIX」を組み合わせ、貸金庫とお客様の安全をトータルに守るシステムです。今後貸金庫は、行員がお客様を案内する方式から全自動に変わっていくことが想定されることから開発したものです。

3日間という短い期間でしたが、4100名以上のお客様にご来場いただき、「これまでもセコム、これからもセコム」というイメージを持っていただけました。



4100名以上の来場者でにぎわった「セコム・テクニカルフェア」



研究中の「インテリジェント非常通報システム」を初披露

「全自動貸金庫システム」も注目を集めました。

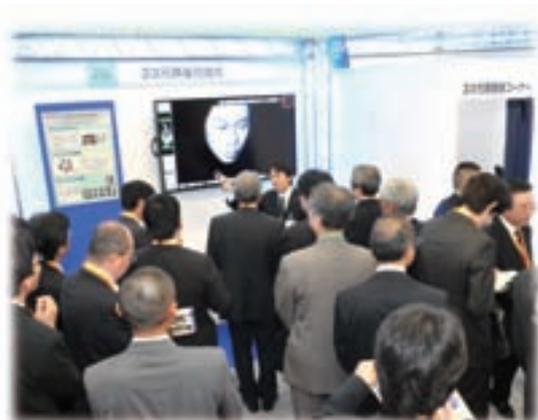
これは、全自動貸金庫に、金融機関向けのオンライン・セキュリティシステム「ハンクスシステム」と、

新システム・新商品を次々開発

セコムは「社会システム産業」の構築を目標にしています。

これは、セキュリティ、防災、メディカル、保険、地理情報サービス、不動産開発・販売、情報系などのシステム・商品・サービスを複合化・融合化して、より安全で便利で快適な社会を築く産業です。

この「社会システム産業」の構築に欠かせないのが技術力。これからも、独自の研究開発力で新システム・新商品を創出し続けていきます。



研究中の3次元顔復元技術を紹介

先進性と独創性を重視した研究開発力で 世の中に先駆けて新システムを開発・販売

● 研究開発にあたっては先進性と 独創性を重視していますね。

「世の中に先駆けて新しい価値を生む」ことがセコムのカルチャーです。それと、他社に追随されない独創的なシステムの開発をめざしています。その典型的な例が遠隔画像監視システム「セコムAX」。発売して12年になりますが、常に進化し続けており、いまだ追随を許していません。

● 信頼性、品質の追求も徹底していますね。

私たちは新しいシステムを開発するた
めの、独自の評価基準を設けています。その基準をクリアしなければ設計をやり直します。「セコムAX」も開発当初は、画像センサーが人だけでなく虫や人の影も検出するという問題がありました。そこで、画像から虫や人の影を排除する技術を独自に開発しました。

● 開発のスピードも重視していますね。

スピードは私たちの至上命題です。一日開発が遅ればその間に被害が発生する可能性があります。技術と運用の蓄積

セコムが常に日本のセキュリティ業界を
リードし続けてきた理由は、独自の研究開発体制で、
新しいシステムを世に送り出してきたことにあります。

このコーナーでは、研究開発部門を
シリーズで紹介していきます。

第1回

セコムの研究開発
R&D
セコム開発センター



セコム開発センター 開発戦略グループ
ゼネラルマネージャー 松本憲一

Kenichi Matsumoto

があることは、セコムの開発の財産になっています。

● フィールドと開発が密着していることも強みですね。

システムを市場に出した後、お客様から「こんなシステムがほしい」「新しい機能を追加してほしい」といった要望が、研究開発部門にフィードバックされてきます。それらの声は機器の改良や新システム開発につながっています。また、技術者がご契約先に出向くこともあります。お客様の声をじかに聞けることは、独自の研究開発を行う上で大きな強みです。

お客様の安全を守ることに自負心を持って 常に高い緊張感で基本に忠実に業務を行う

- **ご契約先で異常が発生したとき、コントロールセンターの管制員が行うことは。**

例えば「セコムAX」の場合、異常信号を受信すると、管制員はシステムから送られてきたご契約先の画像を即座に確認します。「セコムAX」は、画像でご契約先の状況を確認できるので、設置されたスピーカーを通して音声で警告するとともに、すぐに緊急対処員に急行を指示します。そして必要に応じて警察への通報も行うことができます。

- **管制員の教育はどのように行っていますか。**

毎朝、責任者から管制業務を遂行する上での注意点を喚起します。また、異常信号を受信してからお客様の安全を確保するまで、常に緊張感を持ち、決められたことを決められたとおりに行うようにと指導しています。

- **事件を未然に防止したといったお手柄事例を教えてください。**

以前、爆窃団が宝石店に侵入して貴金属を盗むという事件がありました。このご契約先には「セコムAX」が設置されていた



東京中央コントロールセンター
システム担当部長 伊藤友司



Yuji Ito

セコムのオンライン・セキュリティシステムの質は、「マンマシンシステム」と呼ばれる、最先端のセキュリティ機器と情報通信ネットワーク、そして安全のプロによる監視・緊急対処サービスがその質を決めます。その多様なサービスを支える部門をシリーズで紹介していきます。

ので、画像で犯行を確認すると同時に音声警告を行い、さらに「フォギープロテクション」で煙を噴射。犯行を中断させることができました。

- **コントロールセンターは「安全・安心」の要なのですね。**

私たちは、お客様と緊急対処員の安全を24時間365日守っているという自負を持っています。「セコムに任せておけば安心」と言っていただけるように、ベストのサービスを提供していきます。

インドネシアで圧倒的シェアを誇る セコムのセキュリティシステム

赤道直下の常夏の国、インドネシア共和国。国土は日本の約5倍、人口は2億3000万人と、世界で4番目に人口の多い国です。

日本との関係も深く、インドネシアに進出している日系企業は約1000社、在留邦人は1万1000人以上にのぼります。

そのインドネシアにセコムが進出したのは1994年。セコムインドプラタマ(株)を設立し、首都ジャカルタで同国初の企業向けオンライン・セキュリティシステムの提供を開始しました。

そして、2001年には現地の警察財団との合弁でセコムバヤンカラ(株)を設立し、常駐警備サービスを提供開始。また、現在は、ヌサンタラ・セコム・インフォテック(株)による、ITサービス事業にも進出し、人とオンラインによるセキュリティから情報セキュリティまでトータルな安全



の提供を行っています。

インドネシアでは、2008年のリーマン・ショックに端を発した経済危

機の影響が少なく、昨年は中国・インドに次ぐ4.5%の経済成長率を達成。しかも、GDPの6割が内需ということもあり、これまでの

安価な労働力を背景とした“生産拠点”から“一大消費市場”に転換しつつあり、市場は活気に満ちています。

セコムインドプラタマでは、2008年に研修センターの竣工、支店の開設、コントロールセンターのリニューアルなどを矢継ぎ早に基盤整備してきました。現在は、オンライン・セキュリティシステムの普及拡大はもちろん、企業にセキュリティコンサルティングを行うマネジメントサービスの提供にも力を注ぎ、好評を博しています。

セコムインドプラタマでは、昨年の2倍の売上目標を掲げ、マーケット制覇に向けて前進し続けています。

写真左上：セコムインドプラタマの緊急対応員

右下：セコムインドプラタマのコントロールセンター

テレビCM「世界の街角」篇を放送 世界に広がるセコムのセキュリティ

今年1月からのテレビ地上波とBSでテレビCM「世界の街角」篇を放映し、好評を博しています。

このCMでは、軽快な音楽に乗って、ロンドン、台北、ソウル、上海の街角とセコムステッカーが映し出され、セコムが海外でも「安全・安心」を提供していることを紹介し、グローバルに展開するセコムブランドの魅力をアピールしています。

このCMの狙いは、エンディングでの「日本の安全は、世界の安心へ」というキャッチコピーが示すように、セコムが日本で提供している「安全・安心」が世界の「安全・安心」になりつつあることを紹介しています。このCMを通じてセコムの事業のスケールやダイナミズムを訴求し、セコムに対する信頼感をさらに高めていただこうというものです。

セコムは現在、11の国と地域でオンライン・セキュリティを提供しています。セコムが海外で事業を展開していることをこのCMで初めて知ったというお客様も多く、話題を呼んでいます。



ロンドン



ソウル

新テレビCM「ご先祖様と木村さん」篇を放送 木村拓哉さんが笹野高史さんと共演



6月12日から、新しいテレビCM「ご先祖様と木村さん」篇が放送され、話題となっています。

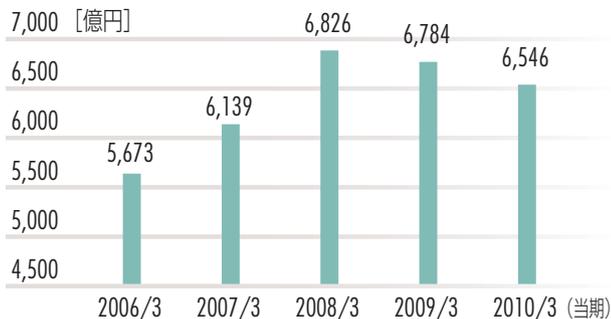
このCMの企画趣旨は、「セコム・ホームセキュリティ」のお客様を対象に提供している生活支援サービス「セコム・ホームサービス」をホームセキュリティとともに訴求することで、「困った時はセコム」と思っていただき、ホームセキュリティとホームサービス双方の販売促進につなげるものです。

今回のCMの主演は、当社のイメージキャラクターを務めるSMA Pの木村拓哉さんが、俳優の笹野高史さんと共演。笹野さんが木村さんのおじいさん役(ただし、守護霊)で登場し、孫の木村さんのために部屋を掃除したり、料理を作ったりと世話を焼こうとしますが、そのたびに木村さんから「セコムに頼むからいいよ」と断られ、ちょっとすねてしまうという設定です。

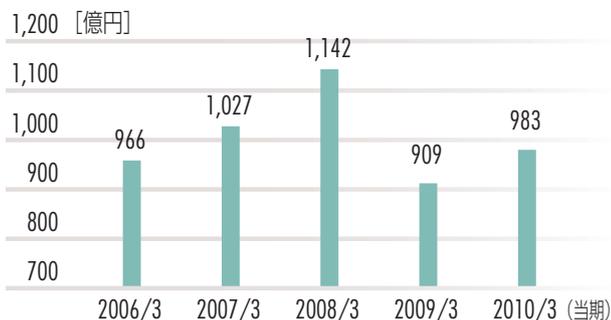
映像的には大変コミカルなイメージですが、CM全体を通して、「セコムはそんなことまでしてくれるんだ」といったイメージをしっかりと訴求しています。

連結決算 業績ハイライト

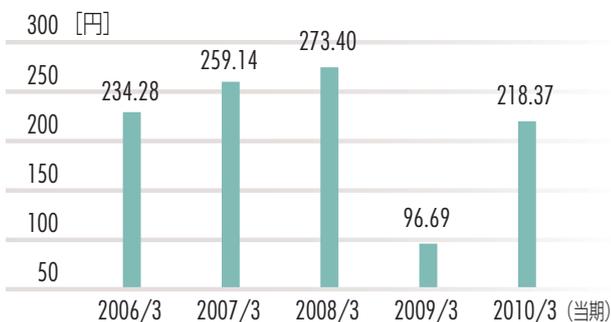
売上高



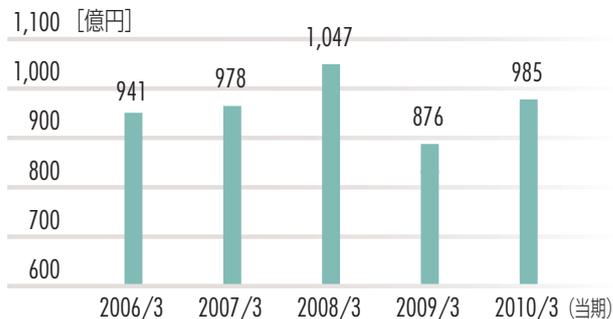
経常利益



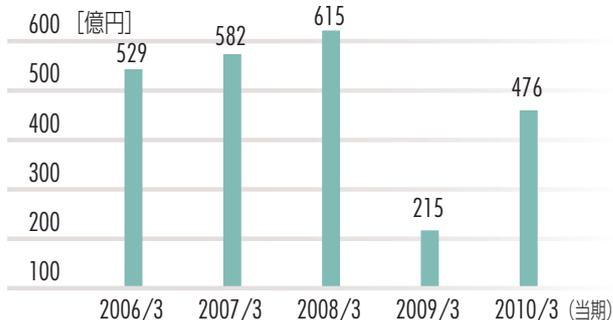
1株当たり当期純利益



営業利益

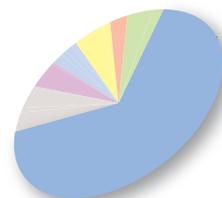


当期純利益



事業別売上高内訳 2010/3 (当期)

● セキュリティサービス事業	4,146 [億円]	63.3%
● 防災事業	801	12.3%
● メディカルサービス事業	377	5.8%
● 保険事業	316	4.8%
● 地理情報サービス事業	419	6.4%
● 不動産開発・販売事業	132	2.0%
● 情報通信・その他の事業	353	5.4%



連結貸借対照表(要旨)

2010年3月31日現在

<単位：億円> *注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部

流動資産	4,836
現金及び預金	1,469
現金護送業務用現金及び預金	488
受取手形及び売掛金	738
未収契約料	208
有価証券	159
リース債権及びリース投資資産	147
たな卸資産	236
販売用不動産	744
繰延税金資産	116
短期貸付金	30
その他	495
固定資産	5,978
有形固定資産	2,730
建物及び構築物	976
警報機器及び設備	630
土地	934
その他	188
無形固定資産	218
投資その他の資産	3,029
投資有価証券	1,877
長期貸付金	504
前払年金費用	186
繰延税金資産	198
その他	262
繰延資産	2
資産合計	10,816

負債の部

流動負債	2,103
支払手形及び買掛金	247
短期借入金	480
一年以内償還予定社債	17
未払金	233
未払法人税等	209
前受契約料	335
その他	578
固定負債	2,461
社債	170
長期借入金	160
預り保証金	367
退職給付引当金	132
保険契約準備金	1,501
その他	128
負債合計	4,565

純資産の部

株主資本	5,819
資本金	663
資本剰余金	830
利益剰余金	5,074
自己株式	△749
評価・換算差額等	△233
少数株主持分	665
純資産合計	6,251
負債純資産合計	10,816

連結損益計算書(要旨)

<単位: 億円> *注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

	当期 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)	前期 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)	増減率
売上高	6,546	6,784	△ 3.5%
売上原価	4,153	4,447	
売上総利益	2,392	2,336	2.4%
販売費及び一般管理費	1,407	1,459	
営業利益	985	876	12.4%
営業外収益	91	129	
営業外費用	93	96	
経常利益	983	909	8.1%
特別利益	33	4	
特別損失	54	278	
税金等調整前当期純利益	962	635	51.5%
法人税、住民税及び事業税	381	417	
法人税等調整額	49	△ 32	
少数株主利益	55	35	
当期純利益	476	215	121.4%

営業の概況(連結)

海外景気の下振れ懸念やデフレの影響による景気下押し懸念が見られる中、「安全・安心」に対する社会的ニーズはますます多様化・高度化しています。セコムグループは、「いつでも、どこでも、誰もが安全・安心に暮らせる社会」、を実現する「社会システム産業」の構築を目指し、セキュリティサービス事業を中心に、防災事業、メディカルサービス事業、保険事業、地理情報サービス事業、不動産開発・販売事業および情報通信・その他の事業で、お客様のニーズに合致した、質の高いサービス・商品を提供することに努めました。

この結果、当連結会計年度における売上高は6,546億円(前期比3.5%減少)となりました。営業利益は、前期に不動産開発・販売事業で販売用不動産評価損が83億円あったものが、当連結会計年度は12億円の計上にとどまったことなどにより985億円(前期比12.4%増加)、経常利益は983億円(前期比8.1%増加)となりました。当期純利益は、前期に当社およびセコム損害保険株式会社、能美防災株式会社などで投資有価証券評価損206億円を計上し、また国内子会社において、繰延税金資産の一部の計上を見送ったことなどにより476億円(前期比121.4%増加)となりました。

<参考> ●連結子会社数 165社
●持分法適用関連会社数 30社
●1株当たり当期純利益 218円37銭

連結株主資本等変動計算書(要旨)

2009年4月1日から2010年3月31日まで
<単位: 億円> *注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2009年3月31日残高	663	830	4,783	△748	5,528	△339	636	5,826
剰余金の配当			△185		△185			△185
連結 会計年度中 の変動額			476		476			476
自己株式の取得				△ 0	△ 0			△ 0
自己株式の処分		△ 0		0	0			0
自己株式処分差損の振替		0	△ 0		-			-
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						105	29	134
連結会計年度中の変動額合計	-	-	290	△ 0	290	105	29	425
2010年3月31日残高	663	830	5,074	△749	5,819	△233	665	6,251

貸借対照表(単体・要旨)

2010年3月31日現在

<単位：億円>

*注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部

流動資産	1,346
現金及び預金	446
現金護送業務用現金及び預金	469
未収契約料	114
売掛金	64
たな卸資産	76
短期貸付金	39
その他	135
固定資産	5,335
有形固定資産	1,181
建物	223
警報機器及び設備	608
土地	283
その他	65
無形固定資産	85
投資その他の資産	4,068
投資有価証券	217
関係会社株式・出資金	1,957
長期貸付金	1,338
長期前払費用	258
前払年金費用	143
繰延税金資産	140
その他	11
資産合計	6,682

負債の部

流動負債	1,112
買掛金	20
短期借入金	244
未払金	142
未払法人税等	146
預り金	236
前受契約料	225
その他	97
固定負債	239
預り保証金	179
退職給付引当金	43
役員退職慰労引当金	11
その他	4
負債合計	1,352

純資産の部

株主資本	5,321
資本金	663
資本剰余金	830
利益剰余金	4,576
自己株式	△ 749
評価・換算差額等	7
その他有価証券評価差額金	7
純資産合計	5,329
負債純資産合計	6,682

損益計算書(単体・要旨)

2009年4月1日から2010年3月31日まで

<単位：億円>

*注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

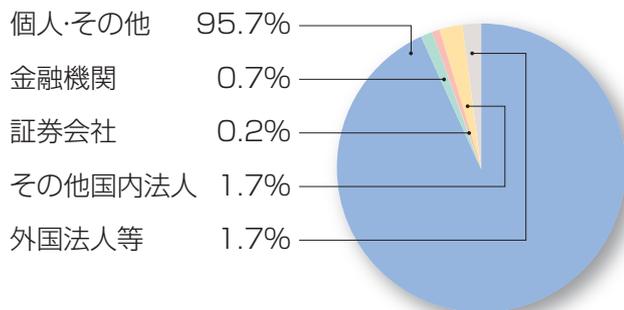
売上高	3,287
売上原価	1,887
売上総利益	1,400
販売費及び一般管理費	685
営業利益	715
営業外収益	92
営業外費用	32
経常利益	774
特別利益	5
特別損失	46
税引前当期純利益	733
法人税、住民税及び事業税	276
法人税等調整額	△ 1
当期純利益	458

<参考> ●1株当たり当期純利益 210円09銭

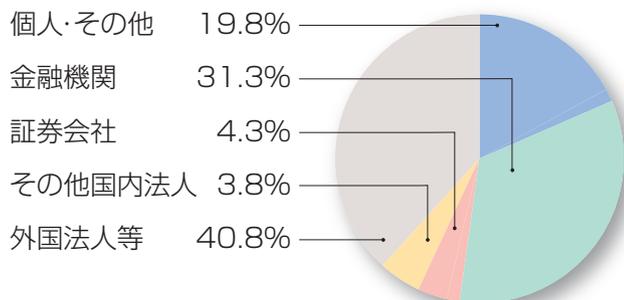
株式の状況(2010年3月31日現在)

1. 発行可能株式総数	900,000,000株
2. 発行済株式の総数	233,288,717株
3. 単元株式数	100株
4. 株主数	31,488名
5. 所有者別状況	

●株主数比率



●株式数比率



*当社所有の自己株式(1名、6.5%)は個人・その他に含めております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月下旬
- 剰余金配当の基準日 3月31日
- 中間配当制度 なし
- 公告方法 電子公告
<http://www.secom.co.jp/koukoku/>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 上場証券取引所 東京、大阪
- 証券コード 9735
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関
- お問い合わせ先 〒137-8081
 東京都江東区東砂7丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-232-711

●各種手続書類のご請求(24時間対応)

☎ 0120-244-479 (音声自動応答)

インターネットから
 のダウンロード <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

住所変更、配当金振込指定・変更、相続手続
 単元未満株式の買取請求・買増請求 など

※三菱UFJ信託銀行では、特別口座に記録された株式に関するお手続きのみを取り扱っております。ご自身で開設したお取引口座に記録された株式に関するお手続きは、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

会社概要

セコム株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-5-1

Tel: 03-5775-8100 Fax: 03-5775-8902

- 資本金 66,377百万円
- 社員数（グループ総数）48,811名（2010年3月31日現在）
- 事業内容

1962年、日本初のセキュリティ会社として創業。

1966年に日本で初めて開発したオンラインによる安全システムは、今では家庭や店舗、オフィスビル、金融機関、大規模商業施設などさまざまな施設に普及しています。

2001年からは、移動する人物・車両向けの新たなセキュリティサービスを開始したほか、常駐警備システムや現金護送システム、各種安全商品などの販売を通じて、社会に安全・安心を提供しています。

セコムグループは、社会にとって安全・安心で、便利で快適なサービスシステムを次々に創造し、それらを統合化・融合化して、トータルな新しい社会システムとして提供する「社会システム産業」の構築を目指しています。

取締役（2010年6月25日現在）

取締役（最高顧問）	飯田 亮
取締役（最高顧問）	戸田壽一
取締役会長	木村昌平
取締役副会長	原口兼正
代表取締役社長	前田修司
取締役副社長	佐藤興一
専務取締役	小幡文雄
常務取締役	桑原勝久
常務取締役	中山泰男
常務取締役	伊藤 博
取締役	伊東孝之

監査役（2010年6月25日現在）

監査役（常勤）	荻野輝雄
監査役（社外）	常松 健
監査役（社外）	安田 弘
監査役（社外）	山下耕平

※ 監査役 常松健を独立役員として証券取引所に届け出ております。

執行役員（2010年6月25日現在）

代表取締役社長	前田修司
取締役副社長	佐藤興一
専務執行役員	秋山勝夫
専務取締役	小幡文雄
常務取締役	桑原勝久
常務取締役	中山泰男
常務執行役員	森 誠一
常務取締役	伊藤 博
常務執行役員	小河原俊二
執行役員	高岡 実
執行役員	森下秀生
執行役員	小松崎常夫
取締役	伊東孝之
執行役員	小松良平
執行役員	鹿野輝夫
執行役員	角田幸生
執行役員	中村直英
執行役員	竹田正弘
執行役員	吉村輝壽
執行役員	新井啓太郎
執行役員	吉田保幸
執行役員	布施達朗

信頼される安心を、社会へ。

SECOM

もしかして、
誰かにつけられて
いるかも…

今日は重要書類を
持ち歩かないと。

あのオジさん、
なんか変なカンジ。

お散歩に出かけた
おばあちゃんが
心配…

セコムの安心を、外出先でも、誰にでも。

身の危険や迷子、急な体調不良、さらにはお荷物の盗難など。外出先でのいろんな不安に、ボタンひとつでセコムに通報。要請で、セコムが現場へ駆けつけます。ご家族の帰りが遅い時などは、パソコン・携帯電話で、ココセコムの現在位置がわかります。

通報できる。居場所がわかる。そして、セコムが駆けつける。

携帯するセキュリティ。

ココセコム

月額基本料
945円
(税込)から

※加入料金や現場急行料金、その他の料金やサービスの詳しい内容はお問い合わせください。

お問い合わせ・お申し込みは

ココセコム

検索

または



0120-855756

9:00~18:00 (年末年始を除き年中無休)

表紙写真のご説明

セコム
TEセンター
(東京都三鷹市)

1986年1月に竣工した、セコムのセキュリティシステムや各種センサーなどの開発、実験、評価を行うセコムTEセンター。TEセンター内にある、セコム開発センターでは、約250名のスタッフが独自の厳しい品質・性能基準に基づき、革新的なシステムの開発に取り組んでいます。



ミックス品
FSC認証林、管理された森林、
リサイクル材または木材の繊維からの
混合物からです。
www.fsc.org Cert no. SA-COC-1442
© 1996 Forest Stewardship Council



本誌は環境に配慮し、FSC 認証紙および
植物性インキを使用しています。

セコム コーポレート広報部 089-10-06-345